

令和8年6月16日

弊社と繋がる皆様へ

業務スケジュールの短縮等について（ご案内）

平素は、弊社をご利用いただき厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年度施行の建築基準法並びに建築物省エネ法の改正に伴う業務量の著しい増加に伴い、弊社に限らず業界全体として業務スケジュール期間が大幅に伸びている実情にあります。かたや申請者等の皆様もスケジュール短縮が喫緊の課題となっているとお声をいただいていることから、弊社としては少しでもご要望にお応えしたいとの強い思いがあります。

前述のことから、弊社として業務スケジュール短縮の実現を最大限目指すために、誠に勝手ではございますが業務着手時期や対応等（回答確認を含む。）について案件毎に優先順位を決めておこなうことといたしましたのでご案内申し上げます。（必ずしも事前審査等の受付け順とはなりません。）

具体的には申請図書等の精度や質疑事項への対応状況等を勘案し、従前からのスケジュールの短縮が見込める案件と、今まで以上にスケジュールが伸びる案件が生じるようになりますが、業務の効率化についてご理解いただき、悪しからずご了承いただきますようお願いいたします。

なお、優先順位を検討するにあたっては主に別紙に示す業務効率の低下が予見できる案件について対応順位を繰り下げることになりますが、その判断根拠に関するお問い合わせや、交渉には応じかねます。

アール・イー・ジャパン株式会社
業務部

別紙

申請者として管理すべきスケジュールについて機関側に要求・交渉することが多い
合理的な理由もなく高圧的な言動に至る場合がある

書類の記載方法の誤りが多い

書類や図書間の不整合が多い

計画に係る事前調査の不足が多い（行政関連手続き含む）

自身で法令を精査せず取り敢えず申請する等の機関任せな事が多い

質疑に対して法令に基づく見解・回答が示せないことが多い

そもそもの質疑事項が多い

質疑事項について電話での問い合わせが多い

質疑事項に対して小出しに対応することが多い

同様の指摘を何度も繰り返すことが多い（地盤調査関連含む。）

審査中に設計上の手戻りや図書等を変更する事が多い

質疑に対しての対応・回答が遅いことが多い

質疑回答について即座に確認するよう要求・交渉する事が多い

そもそも図書内の表現が見づらい事が多い

必要な明示の不足が多い

不必要な記載が多い

必要な図書・資料の不足が多い